

1. 誤表記の事例

(1) 重症・急性期患者情報システム^{アクセス}ACSYSのデータ連携不備

| | 正 | 誤 | | | 正 | 誤 |
|-------|---|---|----|-------|---|-----|
| Hbs抗体 | - | + | また | Hbs抗体 | + | 未検査 |
| Hbc抗体 | - | + | | Hbc抗体 | + | 未検査 |

※同時に開示している電子カルテシステムからの印刷物には正しいデータを提供していた。

4件

(2) 電子カルテの印刷時の誤表記（主な例）

| | 正 | 誤 | 備考 | |
|----------|------|------|------------------------------------|------|
| Hbc抗体（※） | +、- | | +、-ともに空白で表示される | 68件 |
| 住環境 | | 一戸建て | 住環境が未入力の場合、空白となるはずのところ「一戸建て」と表示される | 299件 |
| 関係機関 | 関係機関 | 関連期間 | 漢字誤り | 304件 |
| 主治医 | 氏名 | | 退職した医師の名前が印字されていない | 196件 |

※今回誤った表示がなされたのは、患者さんから聞き取った情報や病院が配慮すべき情報を集約した箇所であり、検査結果の箇所の印刷物には正しいデータを提供していた。

2. 影響について

(1) については、重症・急性期患者情報システムではなく、正しく検査結果が表示されている電子カルテシステムで確認を行っていた。

(2) については、電子カルテシステム自体のデータは正しく表示されていた。